

身近な願い  
実現へ

## 市民の声をもとに現地調査を行い 議会でもりあげました

### 子どもの遊び場確保と 外出しやすい環境を

「こどもと2人だけで一日過ごしているとストレスがたまる」「親子で出かけるところがないかと広報を見ている」等の声があります。特に0才から3才までの子どもがいる家庭でこの傾向が強いです。子どもたちが身近なところで安心・安全に遊べるようにと次の提案をしました。

- 地域会館へ管理人を配置し、いつでも気軽に利用可能に
- コミュニティセンターやゆとろぎの保育室の一般開放を
- スポーツセンターの幼児ホールの遊具の充実を
- 市役所にこどもの遊び場を
- 公園、公共施設にだれでもトイレを

### 臭い！ 危ない！



### トイレの 改善を

羽村市堰下レクリエーション広場は、芝生広場、テントサイト、炊事場等の施設があり保育園の行事などで、多くの子どもたちが利用しています。この広場に設置されているトイレは便器の大きな穴の下に汚物がそのまま溜まっていて、こどもが落ちる心配があります。夏はトイレに近寄れないほどの悪臭があります。ある保育士さんは「こどもたちはいやがるので別の場所でやらせ、便は持ち帰っている」と話しています。今は、少しの水で汚物を流し、ふたもできるような、清潔な簡易水洗トイレがあり、早急に取り替えるよう市に求めました。

## 日本共産党市議団は 他にもこんなことを とりあげています

- 羽村駅西口区画整理事業は一時停止を
- 小・中一貫教育は保護者、教師の納得が大前提
- 妊産婦健診の無料健診の回数を増やし、他県でも受診可能に
- 小・中学校の少人数学級実施を
- 横田基地返還の取り組みを

- コミュニティバスはむらんの充実を
- 75才以上高齢者の医療費を無料に
- 若い人々の健康対策を
- ハローワーク求人情報・相談窓口の開設を
- 動物公園通りの速度・車種規制の継続を
- 参画と協働のまちづくりの推進において
- 福生病院の医師確保で診療の充実を



## 平成22年度予算要望書を提出

日本共産党羽村市議団は10月23日、羽村市長に「平成22年度予算編成にあたっての要望書」を提出しました。これまで市議団で行った市民アンケートや市民のみなさんとの対話を通じて寄せられた要望を98項目にまとめたものです。

下に主なものを紹介します。全文はホームページに掲載していますので、外にもお気づきの要望があれば市議団にお寄せ下さい。http://www.jcphamura.org mail: jcphamura@aol.com

- 自転車駐車場の増設を
- 転居届、死亡届など手続きが1か所のできる窓口業務のワンストップサービスを
- 介護ベッド、車イスに補助制度を。
- インフルエンザ等予防接種の自己負担の軽減を
- 羽村市平和都市宣言15周年記念事業を
- 私立幼稚園保護者負担軽減補助金の増額を
- 一時保育、延長保育の負担軽減を
- 認証保育所・家庭福祉員・認定子ども園に通園することもへの保育料補助を
- 学童クラブの増設、保育内容の充実を
- 図書館分室の充実を



- ゆとろぎの使用料金の引き下げを
- ゆとろぎ、動物園など公共施設の駐車場の有料化はやめよ
- プレミアム付商品券(にぎわい商品券)第2弾の発行を
- 保育料、水道料金、国保税など公共料金の値上げはやめよ
- 学習サポーターの増員を
- 一中・二中・三中の防球ネットの整備を
- アレルギー対応給食の実施を
- 地球温暖化防止条例の制定を

## 市民アンケートで寄せられた市民のみなさんの声

保育園に空きがなく預けて働くことが出来ない。民間の保育施設は高くてパートでは無理。

製造業だが仕事が6割も落ちた。

主人の給料が減ってしまった。こどもが4月から幼稚園。保育料も高い。悩んでいる。

給料が少ないのに税金がどうして高いのか。

1人暮らしで病気で。この先どうなるか不安の毎日です。

年金だけで生活出来ず60歳過ぎても働き続けている。